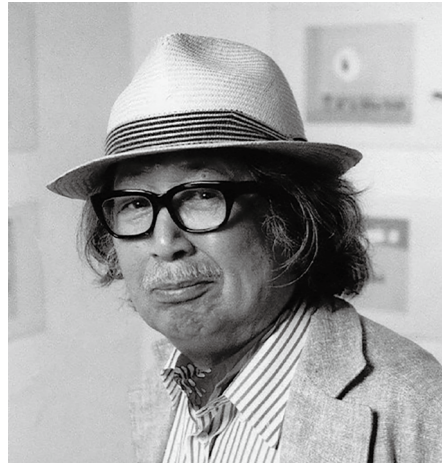


特集

映画作家・クリヨウジ

(2016年、久里洋二からカタカナ表記に変更)



クリヨウジ (久里洋二)

「アートフィルム・フェスティバル」は、実験映画やビデオ・アート、ドキュメンタリー、フィクション等のジャンル区分にとらわれず、独自の視点からプログラムを構成する特集上映会です。

今回特集するクリヨウジ (2016年、久里洋二からカタカナ表記に変更) は、1928年福井県鯖江市生まれの漫画家、アニメーション作家です。デザイナーの柳原良平、イラストレーターの真鍋博とともに結成した「アニメーション三人の会」により、1960年草月アートセンターで開催した「三人のアニメーション」は、今日アート・アニメーションと呼ばれる動向の、日本における先駆けと言えるものでした。当時一般的だった「漫画映画」が、今、「アニメ」という略語を含めて置き換わってしまった状況を思えば、それがいかに革命的であり、インパクトのあるものであったか、実体験のない者にも想像できるのではないでしょうか。クリの映像領域における活動はアニメーションに留まるものではありません。それを象徴的に示すのが1973年に手掛けた『芸術と生活と意見』シリーズで、前衛的、実験的志向の美術家たちを対象としたアート・ドキュメンタリーです。これも類例のない画期的な仕事と呼べるでしょう。クリのアニメーションといえば、まずドローイングを思い浮かべますが、ほかにもフィルムに直接傷をつけて描くキネカリグラフィーや、人間や物体をオブジェ的に使ったピクシレーション、ヤン・シュワンクマイエルを想起させるコラージュ等、実に多彩な手法が用いられているのも特徴です。本特集では、アニメーションの枠組みから一歩踏み出し、映画という観点からクリの仕事を見つめ直してみたいと思います。

また『芸術と生活と意見』上映にちなみ、ナム・ジュン・パイクやジョナス・メカスらが手掛けたドキュメンタリー志向の作品も上映します。合わせてお楽しみください。

○作品提供：久里実験漫画工房

愛知芸術文化センター・愛知県美術館
オリジナル映像作品第31作

清原惟監督

『A Window of Memories』

初公開



清原惟 『A Window of Memories』 2023年

愛知芸術文化センターでは開館した1992年から、一年一本のペースにより、「身体」をテーマとした実験的な映像作品の委託制作を続けています。その最新第31作として完成し、今回初公開されるのが清原惟監督『A Window of Memories』(2023年)です。この作品は監督の清原が、人間には父方と母方の双方に祖母が存在することに着目したことが起点となっています。二人の祖母にはそれぞれの人生があり、そこで培われていった体験が蓄積されています。彼女ら二人は、多くの人を知る著名人でもなければ、特別な事件や出来事に当事者として関わった訳でもありません。いわば市井の人として暮らしてきたのですが、清原監督はその声に耳を傾け、それらをかけがえのないものとして慈しむように記録してゆきます。

清原惟は初長編の『わたしたちの家』(2017年)と、これに続く『すべての夜を思い出す』(2023年)の2本が、ともに「ベルリン国際映画祭」に出品され、注目を集める若手映画監督です。これまでの作品は劇映画の領域に分類されますが、『A Window of Memories』は彼女が初めてドキュメンタリーの領域に踏み込んだ作品です。しかし、単純な記録としてのそれに留まらず、採取した祖母たちの言葉を2人の俳優に、演劇のリーディングを思わせるアプローチで朗読させてもいるのです。そして、この作品はこの二つの領域をたゆたうように、自在に行き来して進行するのです。

この作品に合わせジョナス・メカスやビル・ヴィオラらが自身の母親を含む家族を撮った作品も上映します。映像で描く家族という表現の奥深さに触れられるでしょう。

会場 愛知芸術文化センター12階アトスペースA
〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2

主催 愛知県美術館
Tel.052-971-5511(代) Fax.052-971-5604
<https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

アクセス 地下鉄東山線・名城線「栄」駅下車／
名鉄瀬戸線「栄町」駅下車
オアシス21連絡通路利用徒歩3分



aomoo
aichi prefectural museum of art

▲AICHI ARTS CENTER

入場無料

第27回 アートフィルム・フェスティバル

2023年10月21日(土)~11月1日(水) ※月曜休館

会場：愛知芸術文化センター12階アトスペースA

定員：180名 主催：愛知県美術館

特集 映画作家・クリヨウジ

The 27th

クリヨウジ [AUFOU] (殺人狂時代) (カラー版) 1967年

Art Film

愛知芸術文化センター・愛知県美術館
オリジナル映像作品第31作

清原惟監督

『A Window of Memories』

初公開

Festival

清原惟 『A Window of Memories』 2023年

第27回アートフィルム・フェスティバル

2023年10月21日(土)～11月1日(水) ※月曜休館

上映スケジュール

☆：愛知県美術館蔵

★：愛知県美術館蔵（愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品）

○：アートライブラリー蔵

●：アートライブラリー蔵（大野一雄ビデオライブラリー）

- *上映作品中、今日では配慮すべき描写が含まれる場合がありますが、作品のオリジナリティを尊重し、そのままの状態で上映します。あらかじめご了承ください。
- *やむを得ない事情により、事前のお断りなくプログラムを変更する場合がありますが、ご了承ください。
- *上映作品を撮影する行為はお断りしております。

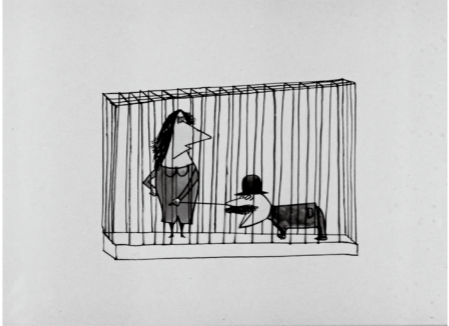
<p>10月21日(土)</p>	<p>〈映画作家・クリヨウジ ① アニメーションの実験〉</p>
<p>14:00 『ファッション』 1960年、5分、16mm（デジタル・ビデオ上映）、モノクロ</p> 『切手の幻想』 1960年、7分、35mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー　音楽：林光 『人間動物園』 1961年、2分11秒、35mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー　音楽：武満徹、詩：谷川俊太郎、声：水島弘、岸田今日子 『椅子』 1963年、10分、35mm（デジタル・ビデオ上映）、モノクロ　出演：岡本太郎、谷川俊太郎、他 『軌跡』 1963年、8分、35mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー　音楽：八木正生 『アオス』 1964年、9分13秒、35mm（デジタル・ビデオ上映）、モノクロ <p>　　声：小野洋子、イラスト：井上洋介、アニメーション：古川肇都、林政道</p> 『フルフル』 1967年、5分13秒、16mm（デジタル・ビデオ上映）、モノクロ 『G線上の悲劇』 1969年、9分、35mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー　音楽：一柳慧 『ポップ』 1974年、3分、35mm、モノクロ　アニメーション：佐々木一恵　計：58分37秒	
<p>-----</p>	<p>〈映画作家・クリヨウジ ② 創造と再創造〉</p>
<p>15:30 『二匹のサンマ』（白黒版） 1960年、22分、16mm（デジタル・ビデオ上映）、モノクロ　音楽：秋山邦晴、詩：谷川俊太郎</p> 『二匹のサンマ』（カラー版） 1968年、13分、35mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー　作詞：山上路夫、作曲：いずみたく、歌：相良直美 『殺人狂時代』（白黒版） 1966年、13分、35mm（デジタル・ビデオ上映）、モノクロ　音楽：山崎宏 『AU FOU!（殺人狂時代）』（カラー版） 1967年、9分32秒、35mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー　計57分32秒	

<p>10月22日(日)</p>	<p>〈映画作家・クリヨウジ ③ アート・ドキュメンタリーの先駆〉</p>
<p>14:00 『芸術と生活と意見』 1973年</p> 『合田佐和子』 25分21秒、16mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー 『関根伸夫』 26分8秒、16mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー／モノクロ　計51分29秒	
<p>-----</p>	
<p>15:15 『荒川修作』 29分30秒、16mm（デジタル・ビデオ上映）、カラー／モノクロ</p> 『あなたは何を考えているの?』 1967年、9分42秒、カラー／モノクロ　計39分12秒 *上映終了後、久里実験漫画工房・吉野ナオコ氏のトークを行います。	

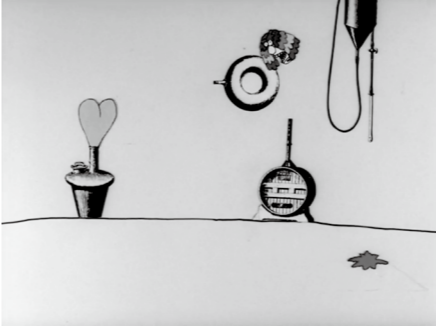
<p>10月23日(月)</p>	<p>休　館</p>
-------------------------	------------

<p>10月24日(火)</p>	<p>〈映像による人物像〉</p>
<p>17:30 ナム・ジュン・バイク『ジョン・ケージに捧ぐ』 1973-76年、29分2秒、ビデオ、カラー　○</p> <p>　　〃　『リビング・ウィズ・ザ・リビング・シアター』 1989年、28分30秒、ビデオ、カラー　○　計57分32秒</p>	
<p>-----</p>	
<p>19:00 ナム・ジュン・バイク『バイクによるマースによるマース』</p> <p>　　共作：マース・カニングハム、チャールズ・アトラス、久保田成子 1978年、28分45秒、ビデオ、カラー　○</p> <p>　　〃　『アランとアレンの不平』 共作：久保田成子 1982年、28分33秒、ビデオ、カラー　○　計57分18秒</p>	

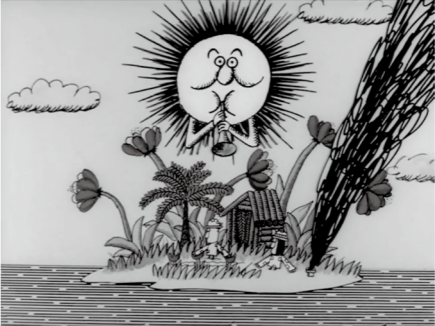
<p>10月25日(水)</p>	<p>〈映像による人物像〉</p>
<p>17:30 ジョナス・メカス『ライフ・オブ・ウォーホル』 1990年、35分、16mm（ビデオ上映）、カラー　○</p> <p>　　〃　『ゼフィーロ・トルナー、あるいはジョージ・マチューナスの人生からの光景』 1992年、34分、16mm（ビデオ上映）、カラー　○　計69分</p>	
<p>-----</p>	
<p>19:00 ジョナス・メカス『ジェローム・ノート』 1978年、45分、16mm（ビデオ上映）、カラー　○</p>	



クリヨウジ「人間動物園」1961年



クリヨウジ『G線上の悲劇』1969年



クリヨウジ『二匹のサンマ』（カラー版）1968年



クリヨウジ『芸術と生活と意見』『合田佐和子』1973年

<p>10月26日(木)</p>	<p>〈映像による人物像〉</p>
<p>17:30 ジョナス・メカス『ジェローム・ヒルによるカール・ユング博士の記録映像あるいは「賢者の石」』 1991年、29分、16mm（ビデオ上映）、カラー　○</p> <p>　　〃　『カップ／ソーサー／2人のダンサー／ラジオ』 1983年、23分、16mm（ビデオ上映）、カラー　出演：ケネス・キングほか　○　計52分</p>	
<p>-----</p>	
<p>19:00 ビル・ヴィオラ『空っぽの部屋を叩く理由』 1983年、19分11秒、ビデオ、モノクロ　○</p> <p>　　〃　『砂漠』 1994年、26分、ビデオ、カラー　○　計45分11秒</p>	

<p>10月27日(金)</p>	<p>〈映像による人物像〉</p>
<p>17:30 長野千秋『O氏の肖像』 1969年、65分、16mm（ビデオ上映）、モノクロ　●</p>	
<p>-----</p>	
<p>19:00 ダニエル・シュミット『KAZUO OHNO』 1995年、14分、35mm、カラー　★</p> <p>　　〃　『稽古場の大野一雄』（旧題『ダニエル・シュミット、レナート・ベルタ撮影による未使用フィルム』） 1995年、13分、ビデオ（オリジナル16mm）、カラー　●</p> <p>　　山城知佳子『創造の発端　ーアブダクション／子供ー』 2015年、18分、デジタル・ビデオ、カラー　出演：川口隆夫　★　計45分</p>	

<p>10月28日(土)</p>	<p>〈アーティストによる、家族の映像〉</p>
<p>14:00 ジョナス・メカス『リトアニアへの旅の追憶』 1972年、87分、16mm（ビデオ上映）、カラー／モノクロ　○</p>	
<p>-----</p>	<p>〈愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品最新第31作初公開〉</p>
<p>16:00 清原惟『A Window of Memories』 2023年、67分、デジタル・ビデオ、カラー　出演：砂子旭子、清原磋智子、小山薫子、坂藤加菜</p> <p>*上映終了後、清原監督によるトークを行います。</p>	

<p>10月29日(日)</p>	<p>〈アーティストによる、家族の映像〉</p>
<p>14:00 ジョナス・メカス『「いまだ失われざる楽園」、あるいは「ウーナ3歳の年』』 1979年、90分、16mm（ビデオ上映）、カラー　○</p>	
<p>-----</p>	
<p>16:00 ビル・ヴィオラ『ザ・パッシング』 1991年、54分15秒、ビデオ、モノクロ　○</p>	

<p>10月30日(月)</p>	<p>休　館</p>
-------------------------	------------

<p>10月31日(火)</p>	<p>〈アーティストによる、家族の映像〉</p>
<p>16:30 キドラット・タヒミック『竹寺　ー モナムール』 1988-89年、60分、ビデオ、カラー　○</p>	
<p>-----</p>	
<p>18:00 キドラット・タヒミック『フィリピンふんどし　日本の夏』 1998年、39分、16mm、カラー　★</p>	

<p>11月1日(水)</p>	<p>〈映像による人物像〉</p>
<p>18:00 酒井耕十濱口竜介『うたうひと』 2013年、120分、デジタル・ビデオ、カラー　出演：小野和子　☆</p>	

<p>-----</p>	
--------------	--

「愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品」は、愛知県文化情報センターによる実験的な映像作品の制作プログラムとして1992年の芸文センター開館時にスタート。芸文センター内の組織改編に伴い、2014年、愛知県美術館が映像作品として収蔵するとともに、制作を継承しています。